



令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	2学年キャリアデザインツアー（普通科理系）	
期 日	令和5年10月5日（木）～6日（金）	
会 場	仙台市、石巻市	
対 象	普通科理系2年生	
目 的	<p>【大学訪問】 大学を訪問し、大学の先生の講義を聴いたり、研究室を見学したりすることで、科学や科学技術に対する興味・関心・意欲を高め、また、その意義や有用性の理解を深める。同時に、学びへの意欲や進路意識も高める。</p> <p>【震災学習】 震災学習を通して災害への理解を深め、命の大切さを再確認するとともに、日常の中で何ができるか、いざ被災した時にどのように行動できるかを考える。特に、理系人材としてどのように社会に貢献できるかを考えるきっかけを得る。</p>	
内 容	<p>1日目 東北大学工学部訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北大学工学部紹介 ・佐藤翔輔准教授による模擬講義 ・研究室見学 <p>東北大生徒の座談会</p> <p>2日目 石巻市震災遺構門脇小学校への訪問</p>	
		
	東北大学模擬講義	東北大学学科見学



東北大生との座談会



震災遺構門脇小学校の見学

感想など

- 高度な研究を見ることができて「細部はこんな構造になっているんだ。もっと他のも見たい。」という探究心に火がついた。
- 科学に対して、苦手意識と、あまり関わりもないだろうという先入観があったが、私たちの生活に深く結びついていると知った。
- 今まで学んできたことが、大学に行ったら研究の中でいろいろ生かすことができることを知り、もっと勉強を今のうちに頑張りたいと思えた。
- 東北大学のレベルの高い研究を見て回ただけではなく、卒業生との座談会を通して今何をしたらいいか、今何をしたらいいか、将来へ向けて何が必要か確かめることができた。
- 進路を考える際に自分が大学でやりたいことを明確にすることが大切だと分かったし、どのような視点で大学を見るといいのかが知れた。
- 災害から身を守るには意識的な面も大切だが、技術で守ることも大切だと実感した。